



加齢によるおとろえととまどいは、 こどものみるこわい夢を へらしてくれるそうです。

ヨシタケシンスケ著「ちょっぴり ながもちするそうです」白泉社より

といわれたら、「おとろえ」や「とまどい」を感じている人はどう思うでしょう？

「おとろえ」や「とまどい」というと、

多くの人は前向きにとらえられないかもしれませんね。

でもそれが、こどものこわい夢をへらせると言われたら、

「そんないいこと 本当にできるの!？」って、ココロが明るくなりませんか？

同じことでも、とらえ方ひとつで見え方・感じ方は変わります。

ゆっくりしか歩けなくなった人は、さっさと歩いていた時には気づけなかった
空の色や道端の花の美しさを新たに見つけられたり…。

よくものを忘れるようになった人は、いやなことまで忘れてしまえるし、

初めて出会う新鮮な気持ちをたくさん味わえたり…。

この「**ちょっと見方を変えてみたら**」をサポートするのが「**介護の仕事**」です。

高齢の方は人生の先輩として、これまでの体験からくる言葉や振る舞いで、

私たちに「違ったものの見方」を教えてくださいます。

それで元気が出たり、「ああ良かった」と思ったり…。

**サポートをする人とされる人が、
入れ替わりながら一緒に生きていく。
それが、「カイゴ」という仕事なんです。**



大募集! 「夢のつづき」を見る方法

ところで、素敵な夢なら、続きを見たいと思いませんか？

そこで! 「夢のつづき」を見る方法を募集します。

ユニークな「方法」は、ひめふくレター 3月号に掲載します。

★応募方法: ホームページから応募ください。

★締め切り: 2025年1月元旦 ★副賞: クオカード500円

